



■ 2025年3月期2Q決算概要

- 本資料内では、中期経営計画「バリュークリエーション」を「VC(ブイシー)」とする略称を使用

2025年3月期 2Q決算ハイライト

経営合理化の効果と中国の景況感回復傾向もあり、増収増益

売上	連結	連結売上高は、前年同期比104. 5%、8億円増の199億円
	日本	前年同期比88. 4%の57億円 医療関連は好調に推移したが、自動車関連の下落幅が大きく影響
	中国	前年同期比115. 8%の113億円 自動車関連の復調もあり増収
	東南アジア	前年同期比97. 9%の9億円 インド・インドネシアは好調だが、シンガポール、ベトナムが不調
	欧米他	前年同期比104. 7%の19億円 欧州他が好調に推移、米州は堅調
利益		営業利益は、前年同期比132. 7%の692百万円 経常利益は、前年同期比75. 0%の606百万円 親会社株主に帰属する中間純利益は、212百万円 (前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失950百万円)
ネット資金		中間純利益計上・設備投資絞り込み等により、期首から362百万円増加



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

1

■ 2025年3月期2Qの決算ハイライト

- 売上面では中国の景況感回復傾向による影響、利益面では経営合理化の効果がでており、増収増益

損益計算書サマリー(2Q比較)

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高	19,120		19,989		869	104.5%
営業利益	2.7%	521	3.5%	692	170	132.7%
経常利益	4.2%	808	3.0%	606	▲ 202	75.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	-	▲ 950	1.1%	212	1,162	-

【為替レート(実績)】 1人民元=21.06円/1USD=152.31円



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2

■ 決算数値の概要

■ 売上高は199億89百万円で前年同期比104.5%、8億69百万円の増収

■ 営業利益は6億92百万円、経常利益は6億6百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は2億12百万円

売上高と利益(2Q比較)

(単位:億円)

売上高

191(13.65)

(うちFA売上高)

199(14.34)

5.21

営業利益

6.92

2.12

純利益

▲ 9.50

2024年3期

2025年3期

【前年同期比較】

売上高 8 億 69 百万円 増収

営業利益 1 億 70 百万円 増益

純利益 11 億 62 百万円 増益

※親会社株主に帰属する中間純利益



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

3

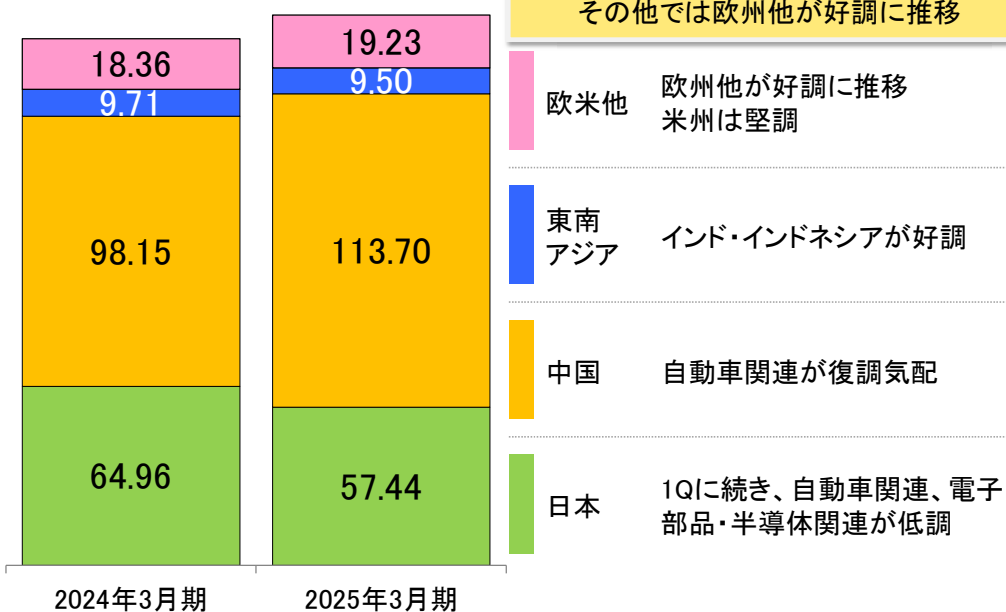
■ 2024年3月期と2025年3月期の売上高・利益比較(2Q)

■ FA売上含め前年同期の数値と比較して、増収増益

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(2Q比較)

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4

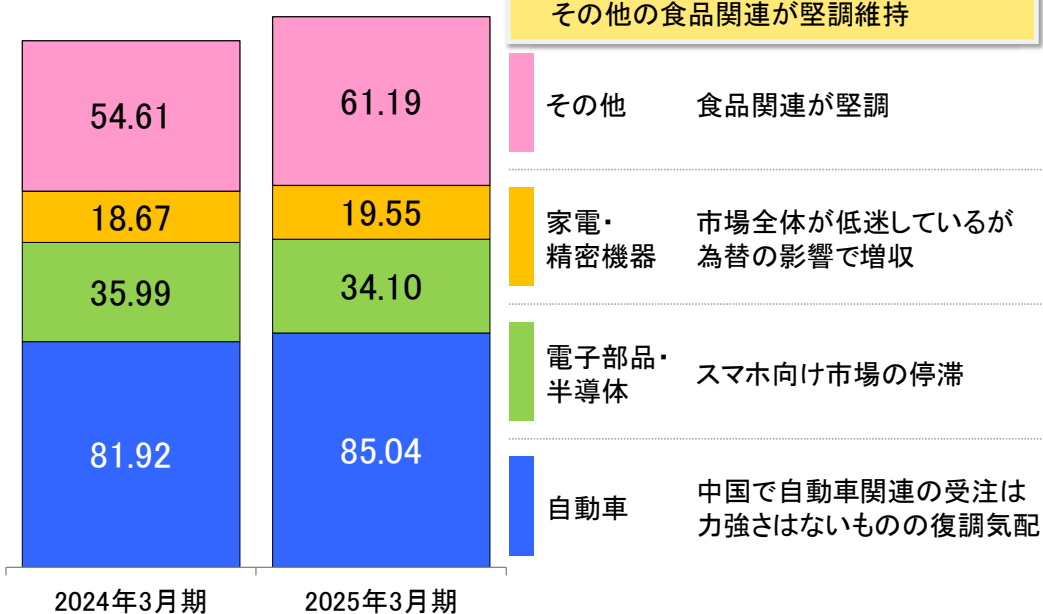
■ 2024年3月期と2025年3月期の地域別の売上高比較(2Q)

- 日本と東南アジアが前年同期を下回った一方、中国と欧米他が前年同期を上回る実績

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(2Q比較)

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

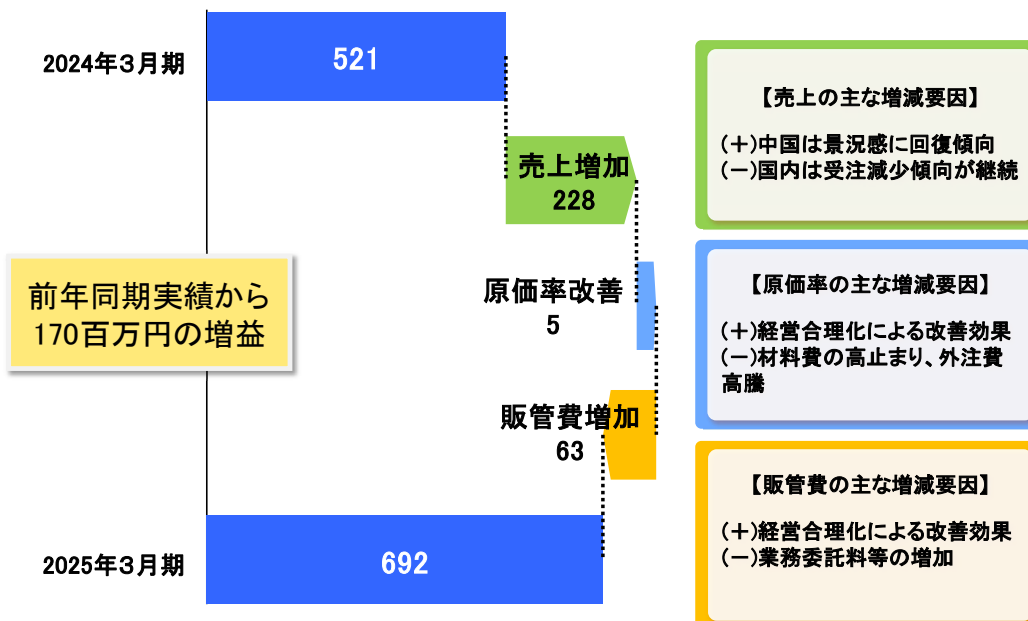
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

5

- 2024年3月期と2025年3月期の業種別の売上高比較(2Q)
- 自動車関連は、力強さはないものの中国において復調気配
- 電子部品・半導体関連は日中ともにスマホ向け市場停滞
- 家電・精密機器関連は市場全体が低迷しているものの、為替影響で大きく増収
- その他は食品関連が引き続き堅調
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(2Q比較)

(単位: 百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

6

■ 営業利益の増減分析(2Q)

- 前年同期の営業利益実績5億21百万円に対して、売上増による2億28百万円の増益効果

原価率については、経営合理化による原価改善の増益要因があったものの、材料費の高止まりや外注費高騰等の減益要因もあり、5百万円の増益効果

販管費は経営合理化による販管費減少等の増益要因はあったものの、業務委託料等の増加や為替の影響もあり、63百万円の減益影響

- 結果、2025年3月期2Qの営業利益は、前年同期から1億70百万円の増益となり6億92百万円を計上

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	29,649	31,861	2,211
総負債	10,899	11,496	596
うち有利子負債	3,563	3,120	▲ 443
純資産	18,750	20,364	1,614
ネット資金	2,477	2,839	362
自己資本比率	63.1%	63.8%	0.7pt

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	522	474	▲ 47
減価償却費(無形固定資産含む)	572	594	22



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

7

■ 貸借対照表サマリー

■ 総資産は、売上債権や有形固定資産の増加等により、22億11百万円の増加

■ 総負債は、仕入債務の増加等により、5億96百万円の増加

■ 純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、16億14百万円の増加

■ 上記の結果、自己資本比率は前期末から0.7ポイント上昇し、63.8%

■ 設備投資額は、前年同期から47百万円減少の4億74百万円

2025年3月期 通期連結業績及び配当の予想の修正

(単位:百万円)

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 連結累計期間			
		前回予想	修正予想	前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	38,344	38,500	40,800	2,456 (106.4%)	2,300 (106.0%)
営業利益	3.2% 1,240	5.6% 2,150	3.9% 1,600	360 (129.0%)	▲ 550 (74.4%)
経常利益	3.7% 1,421	5.5% 2,100	3.7% 1,500	78 (105.5%)	▲ 600 (71.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	- ▲ 577	3.1% 1,200	2.0% 800	1,377 (-)	▲ 400 (66.7%)
自己資本利益率 (ROE)	-	6.3%	4.1%	-	▲ 2.2pt
投下資本利益率 (ROIC)	3.9%	6.7%	4.8%	0.9pt	▲ 1.9pt

2025年3月期
配当予想

19円48銭(予定) = 中間 9円80銭 + 期末 9円68銭

【想定為替レート】 1人民元=20円83銭/1USドル=148円79銭

【設備投資計画】 設備投資額:15億円 減価償却費:11億円

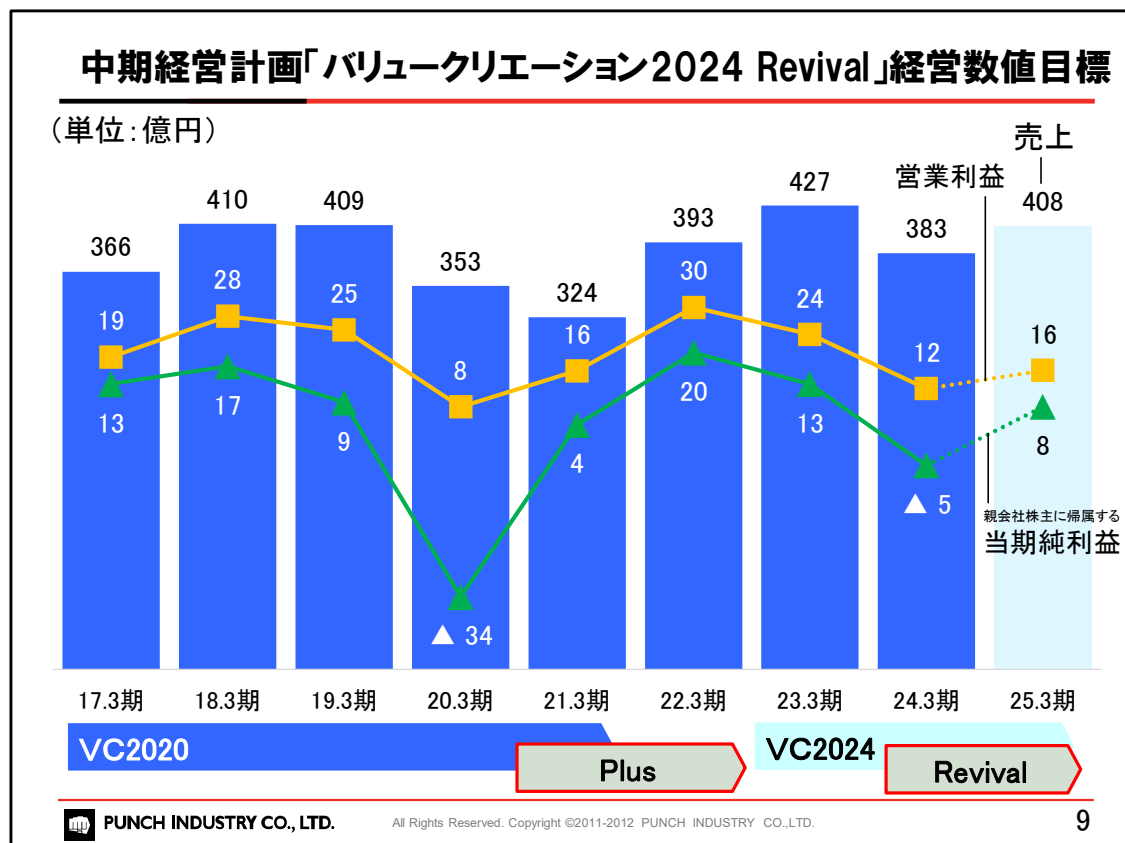


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

8

- 中期経営計画「VC2024 Revival」最終年度である2025年3月期の通期連結業績及び配当の予想を修正
- 売上面は為替影響が大きく、海外事業での大幅な増収を見込む
- 利益面は経営合理化による販管費減少等の増益要因はあったものの、将来の売上・利益改善のための研究開発費の増加もあり、また材料費の高止まりや外注費の高騰、海外競合企業との価格競争等の影響により、前年比では増益を見込むものの、当初予想から下方修正
- 業績予想の修正に伴い、想定為替レートも、1人民元=19円50銭から20円83銭へ、また1USドル=142円から148円79銭と変更
- 今期2025年3月期の設備投資計画は約15億円、減価償却費は11億円という見込みは変更なし

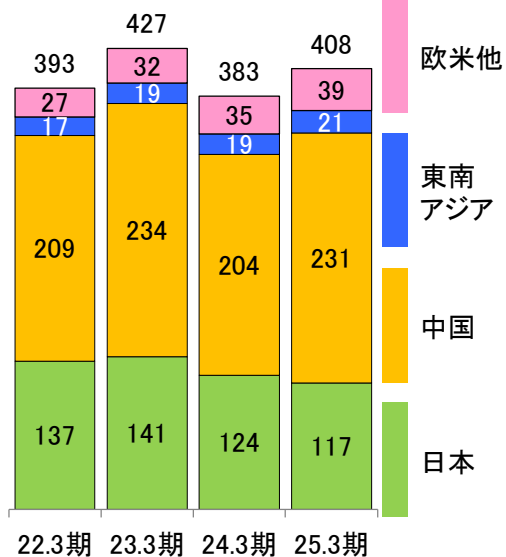


- 中期経営計画期間中の売上・営業利益・当期純利益の推移グラフ
- 当社グループは、2023年7月に公表した中期経営計画「VC2024 Revival」に取り組んでおり、今期25.3期が最終年度
- 「VC2024 Revival」では、付加価値の高い特注品ビジネスにより特化するとともに、FA領域の“特注品”の販売拡大によって、持続的な利益成長を目指すことが方針
- 最重点施策に「国内事業の再整備」並びに「海外事業での成長」を掲げ、国内事業においては2023年9月に希望退職者の募集・連結子会社の解散を含めた経営合理化を行い、事業体制の再整備を行う一方、海外事業においては中国での総合機械部品企業への進化への取組み、インド市場への再注力、販売拠点及び販売代理店の新設検討など、成長戦略を継続
- 次期中期経営計画に関しては、後段に記載

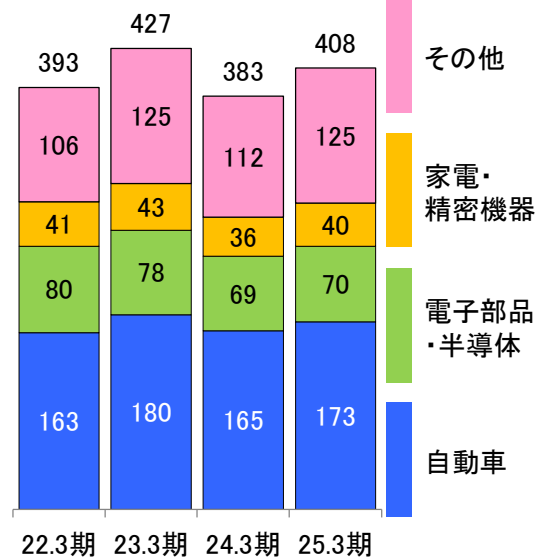
地域別・業種別売上の数値目標

日本以外の受注環境は好転、かつ為替影響もあり前期から増収幅は拡大と予想

(単位: 億円)



(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

10

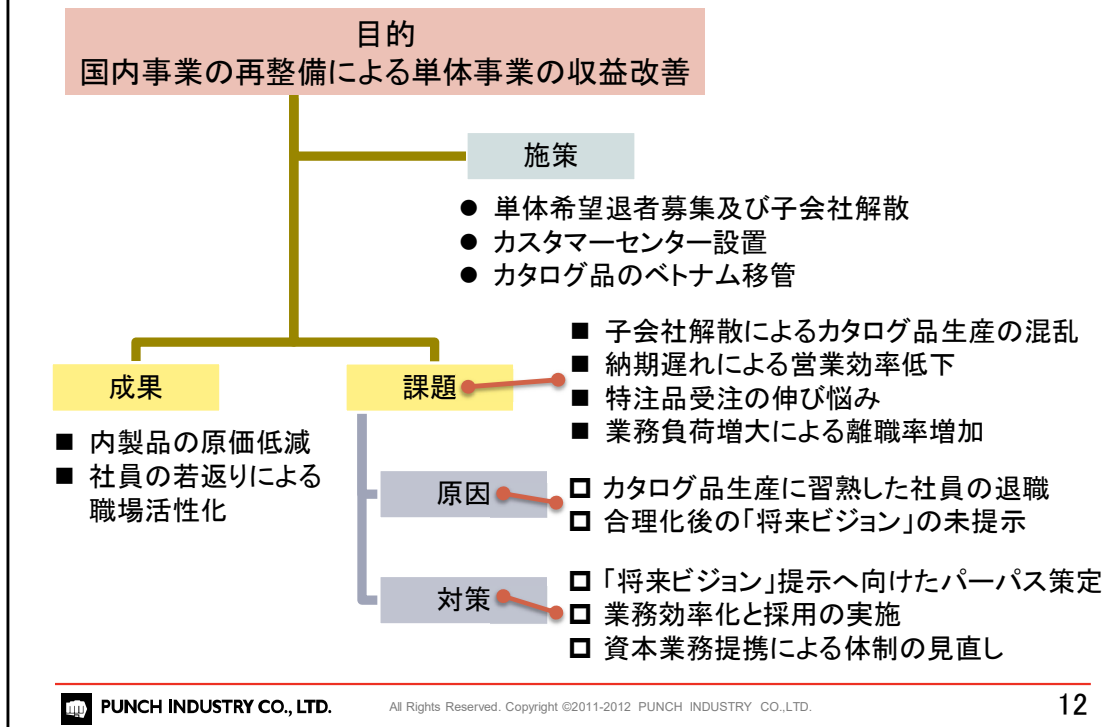
- 前回予想の売上385億円から、為替影響による海外事業での増収を織り込み、今回売上予想を408億円と業績予想を修正した、地域別・業種別売上の内訳

ミスミグループとの資本業務提携及び 2027年3月期～2029年3月期 2026-2028年度 次期中期経営計画 「バリュークリエーション28」について

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

- パンチグループは、中期経営計画「VC2024 Revival」の方針をより強力に押し進めるべく、2024年10月7日には、株式会社ミスミグループ本社との資本業務提携の契約締結を発表
- 今後、両社グループは、パンチグループの保有する高度な精密加工技術と顧客ニーズへのきめ細かい対応力、ミスミグループの持つ先進的なデジタル技術とグローバル確実短納期の供給力といった強みを最大限活かし、自動化装置やその周辺部品、金型部品に限らず、標準品から特注品までの幅広い金属加工分野全般において、それぞれの得意分野の商品の相互供給や物流インフラの有効活用等を通じて相互に補完・強化しながら、共に成長・発展していく
- 資本業務提携および次期中期経営計画「VC28」の期間について説明

経営合理化の目的に対する施策・成果・課題及び原因と対策



- 2023年7月に公表した、経営合理化の目的・成果・課題及び原因と対策と一連の取組みについて整理

- 「国内事業の再整備」を目的として、単体希望退者募集及び子会社解散、カスタマーセンター設置、カタログ品のベトナム移管、という施策を打った

- 成果としては、内製品の上期原価率は前年同期と比較しても約2ポイントの良化となり、社員の若返りによる職場活性化という効果も出た一方で、合理化後の課題として、子会社解散によるカタログ品生産の混乱、納期遅れによる営業効率低下、特注品受注の伸び悩み、業務負荷増大による離職率の増加といったさまざまな課題が発生した

- 原因としては大きく2つ

- 一つ目は、カタログ品生産に習熟した社員の退職等があり、受注拡大のための体制整備に想定以上の時間と労力を必要としたこと
- 二つ目は、経営合理化後の会社の「将来ビジョン」を提示できなかったこと

- 経営陣として、これらの課題を予見できなかったことは大いに反省すべき点であり、これらの課題や原因への対策として、まず、当社の将来ビジョン提示に先立ち、今年の8月にパーパスを策定し、公表

- 足下では十分な体制整備には相応の時間を要する状況ではあるものの、人財採用・人財育成は進捗中であり、更にもう一段、カタログ品生産体制の根本的な見直しを行うことで、特注品ビジネスに特化し、持続的な利益成長を目指すための取組みとして、今回の資本業務提携を公表

資本業務提携の狙い

当社は付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指す

パンチグループが培ってきた精密加工技術のノウハウおよび標準部品から特注部品までの幅広い対応力と、ミスミグループが磨きあげてきた「グローバル確実短納期」の強固な供給体制およびデジタル対応力など、互いの強みを最大限に活かし、金属加工部品等の製品・サービスの相互供給をはじめとする各種業務提携を通じて、ともに成長・発展し、社会へ貢献することを目的として、本提携契約を行います。

なお、この資本業務提携契約は、

**パンチグループとミスミグループが
対等なパートナーとして 継続的に共存共栄
を図り、産業界全体の繁栄を目指す** ものです。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

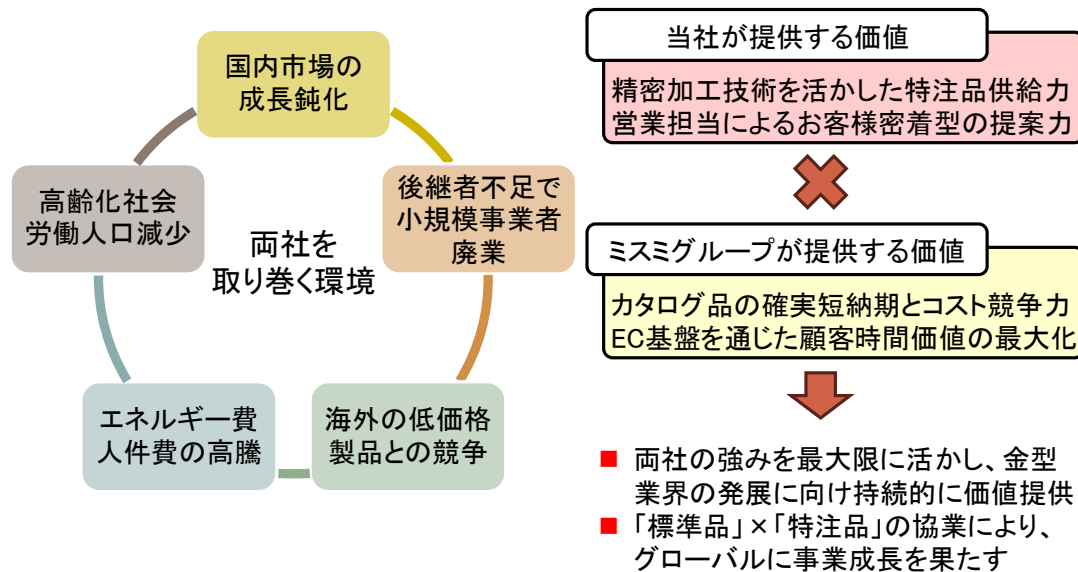
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

13

- 資本業務提携の狙いは、互いの強みを最大限に活かし、金属加工部品等の製品・サービスの相互供給をはじめとする各種の協業を通じて、ともに成長・発展し、社会へ貢献することが目的
- この資本業務提携契約は適時開示に記載の通り、パンチグループとミスミグループが対等なパートナーとして、継続的に共存共栄を図り、産業界全体の繁栄を目指すもの

「両社が提供する価値」によるシナジー効果の狙い

金型部品市場特有の問題点や社会として抱える課題を両社のシナジー効果で解決



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

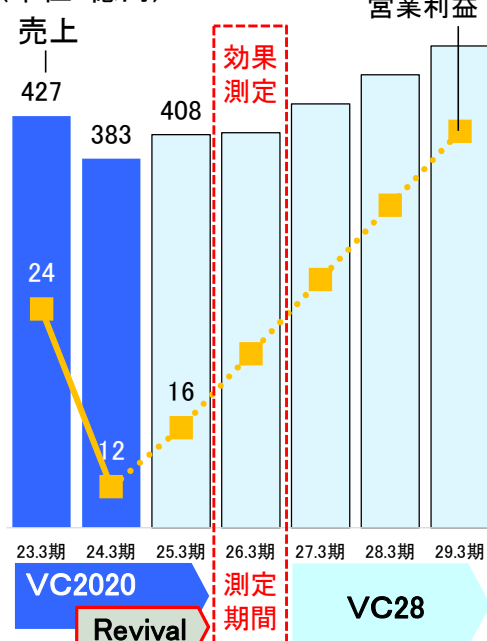
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

14

- 金型部品市場特有の問題点や社会として抱える課題に対応する必要性を両社とも感じており、両社の資本業務提携によるシナジー効果で、
 - 「国内市場の成長鈍化」
 - 「後継者不足で小規模事業者廃業」
 - 「海外企業の低価格製品との価格競争」
 - 「人件費やエネルギーコスト等の高騰」
 - 「高齢化社会・労働人口の減少」
 などの課題への対策を通じて、金型業界の発展に向け持続的に価値提供し、「標準品」×「特注品」の協業により、グローバルに事業成長を果たすことで両社の強みを最大限に活かすことになった

次期中期経営計画「バリュークリエーション28(27.3～29.3期)」

(単位: 億円)



- 資本業務提携による業績効果
 - 国内は商品の相互供給等の協業によりシナジーの早期実現を目指す
 - 海外は成長が期待される海外市場において、両社のネットワークを活用し、共同で市場開拓を進めることで、新たなビジネスチャンスを創出
- 両社で協議中のタスク
 - 資本業務提携を通じて相乗効果を生み、両社の業績向上に寄与するよう、互いに「商品供給」「物流」「調達」「海外展開」等
 - 協業による大きな効果は見込めるものの協議中案件が多く、上振れ幅が不透明
- 次期中期経営計画の期間
 - 現中期経営計画は25.3期が最終年度
 - 26.3期は中期経営計画を策定せず、効果の測定を行う期間として設定
 - 次期中期経営計画は2026年4月からの27.3期より開始



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

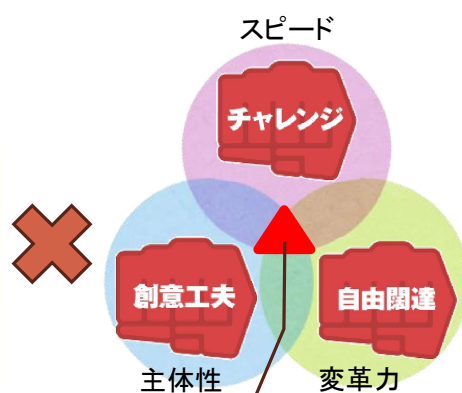
15

- 国内は商品の相互供給等の協業によりシナジーの早期実現を目指しており、海外は成長が期待される海外市場において、両社のネットワークを活用し、共同で市場開拓を進めることで、新たなビジネスチャンスを創出することを意図
- 資本業務提携を通じて相乗効果を生み、両社の業績向上に寄与するよう、互いに「商品供給」「物流」「調達」「海外展開」等の協業内容のタスクについて協議中
- 協業により、大きな効果は見込めると考えているが、協議中の案件が多く、業績貢献の度合いをどこまで織り込むかの上振れ幅が不透明であることも事実
- そこで、現・中期経営計画は25.3期が最終年度となるが、26.3期は中期経営計画を策定せず、協業効果の測定を行う期間として設定
- そのため、次期中期経営計画は27.3期、つまり2026年4月から開始とし、期間は27.3期から29.3期の3年間として策定する予定

パンチグループの「パーパス」によるビジョン

「パーパス」実現のための「長期ビジョン」を策定中

ものづくりによる信頼、
真摯な技術、自由な創造力で、
次世代の豊かな未来をカタチづくる



FAも含めた特注分野で発揮

- スピード感のあるチャレンジ実行
- 主体性を持って創意工夫を凝らす
- 変革力を持ち自由闊達な議論を実施

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

16

- 現・中期経営計画「VC2024 Revival」では、「付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指す」ことを基本戦略とし、事業構造の改革に取り組んできており、この基本戦略の一環として、ミスミグループとの資本業務提携契約を締結
- 「特注に特化」して事業構造を変えていくためには、社員全員の力が必要
- 今回の資本業務提携をトリガーにして、スピード感を持って会社を変革していくためにも、今まで当社の中にあったマインドを改めて言語化した「パーパス」を策定
- パーパスで策定した、「ものづくりによる信頼、真摯な技術、自由な創造力で、次世代の豊かな未来をカタチづくる」ことに共感し、「パンチスピリット」を意識して取り組んでくれる人財育成のためにも「長期ビジョン」を策定中
- 来年、当社は創業50周年を迎える
コツコツ積み重ねてきた50年であり、今後もさらに積み重ね、「パーパス」に共感し、「パンチスピリット」を持った社員とともに、明日のパンチグループを作っていく
- 業績改善と併せて「ROIC経営」などの資本効率を意識した経営を継続し、かつ機動的な自己株式の取得を含めた積極的な株主還元とIR活動にも取り組み、時価総額やPER・PBRの向上も図っていく



■ 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

■ 中期経営計画

➤ http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html

■ 決算短信

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

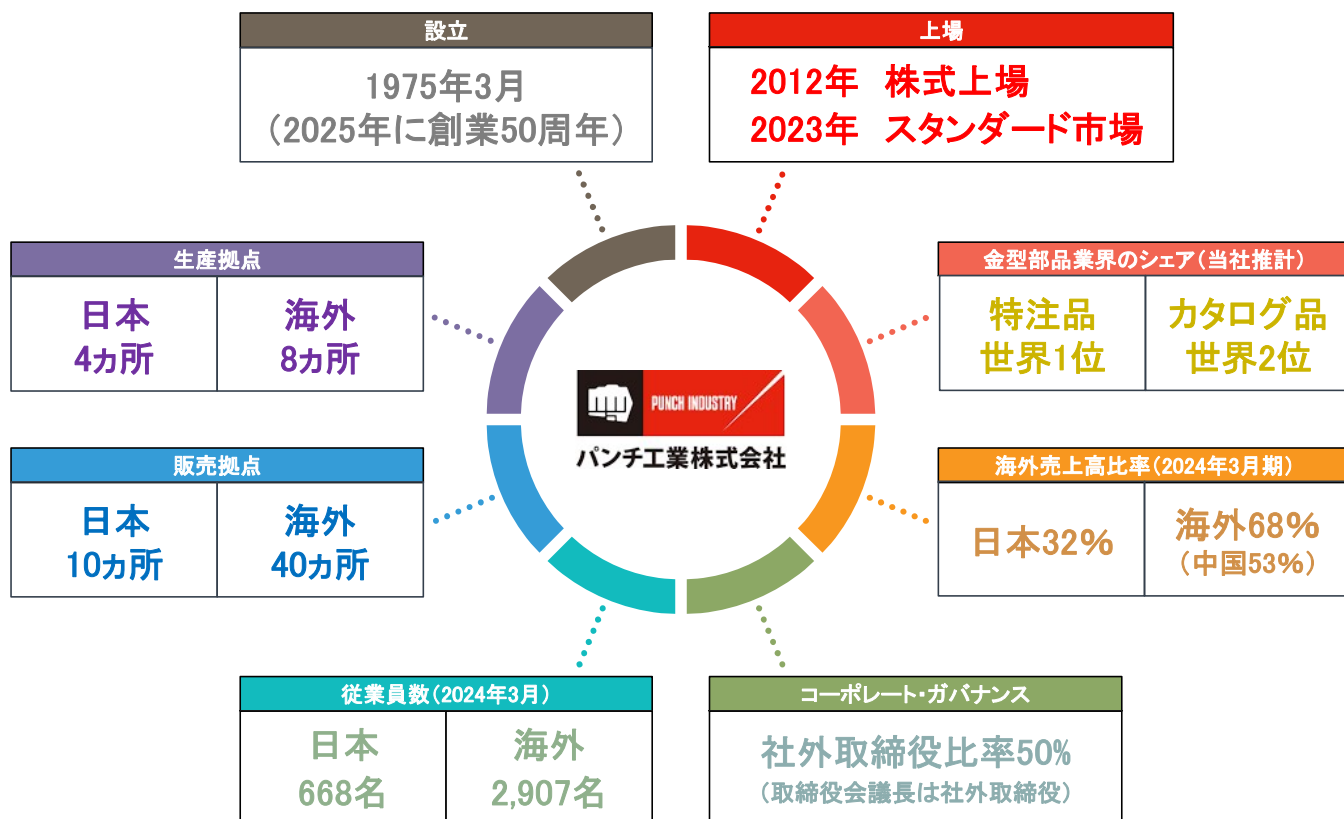
■ 決算説明資料

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

■ IRニュース一覧

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/2024/>

ひと目でわかるパンチグループ



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

18

マネジメント体制

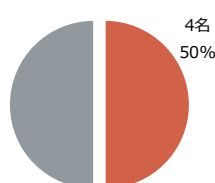
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

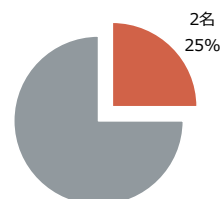
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役	高辻 成彦
	社外取締役 取締役会議長	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

社外取締役比率



女性取締役比率



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

19

パンチグループ沿革



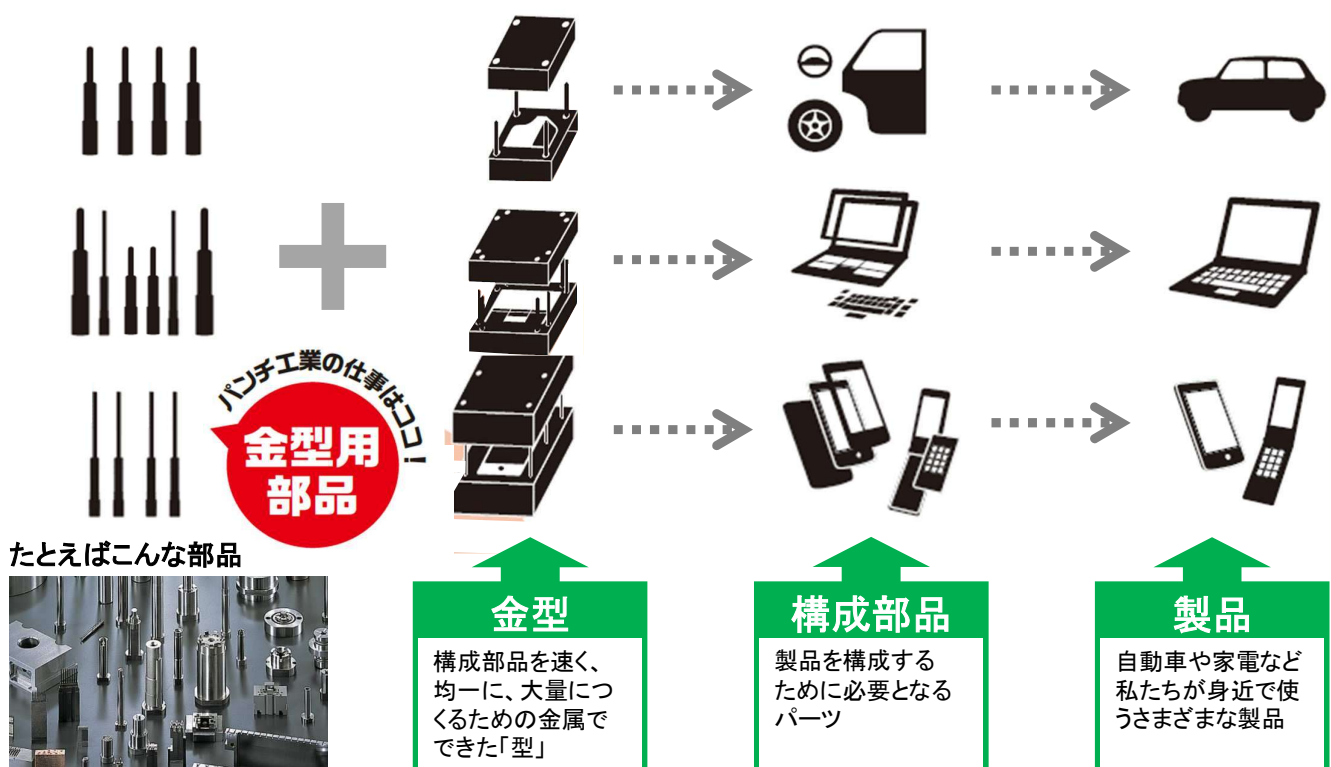
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

20

事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

21

パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶解したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

22

パンチグループの特徴

日本・中国
特注金型部品シェア1位 ※当社推計



カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

スピーディなソリューション

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応



一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

23

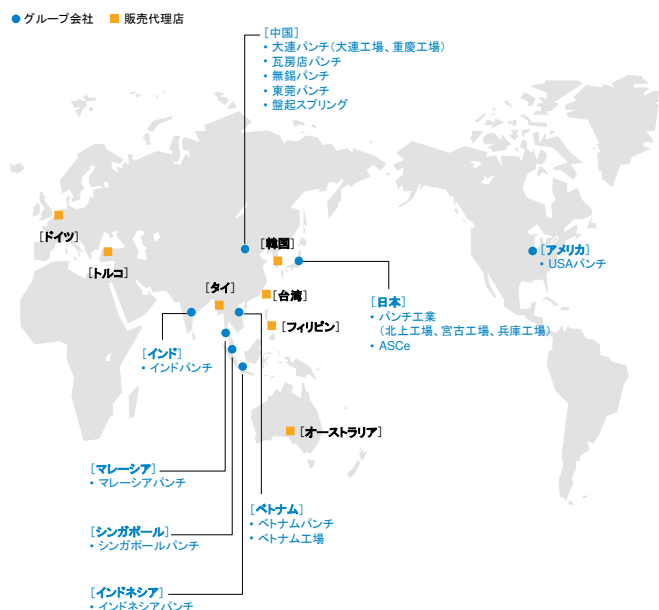
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み



パンチグループのネットワーク



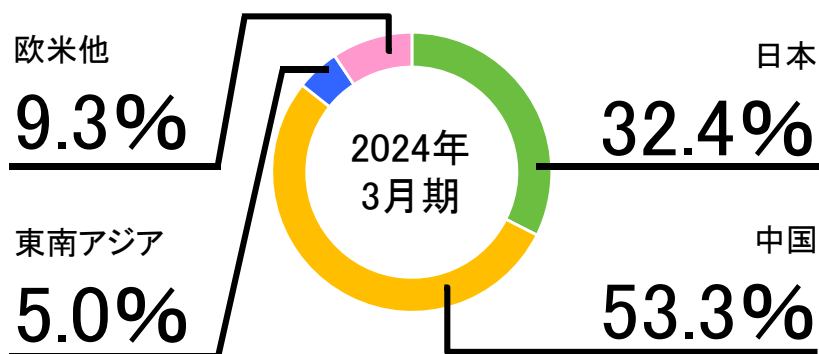
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

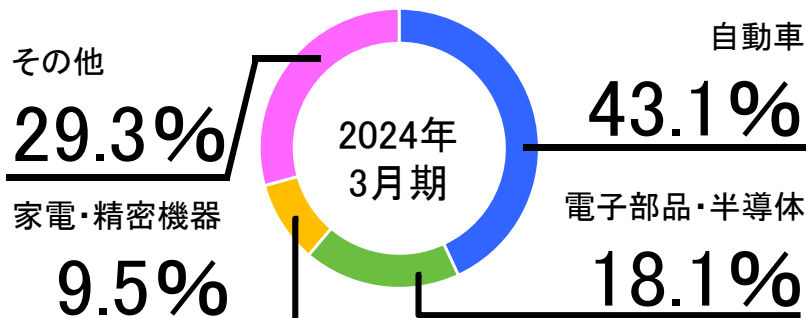
24

地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比



業種別売上高構成比



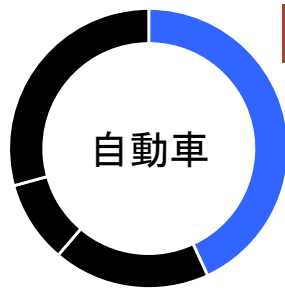
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

25

業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



主要顧客

自動車メーカー及び
Tier1,2
金型メーカー



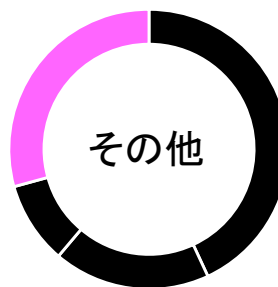
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー



主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

26

エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー



パンチグループ



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

27

主な展示会出展・セミナー登壇情報(2024年)

期間	開催地	展示会
6/4 ~ 6/7	フランス リヨン	France Innovation Plasturgie
6/7 ~ 6/9	日本 大阪	日本臨床細胞学会総会(春期大会)
6/19 ~ 6/21	日本 東京	ものづくりワールド2024
7/24	日本 北海道	ものづくりサステナフェア
9/4 ~ 9/6	日本 千葉	JASIS 2024
9/9 ~ 9/14	アメリカ シカゴ	International Manufacturing Technology Show



ものづくりサステナフェア



International Manufacturing Technology Show



JASIS2024

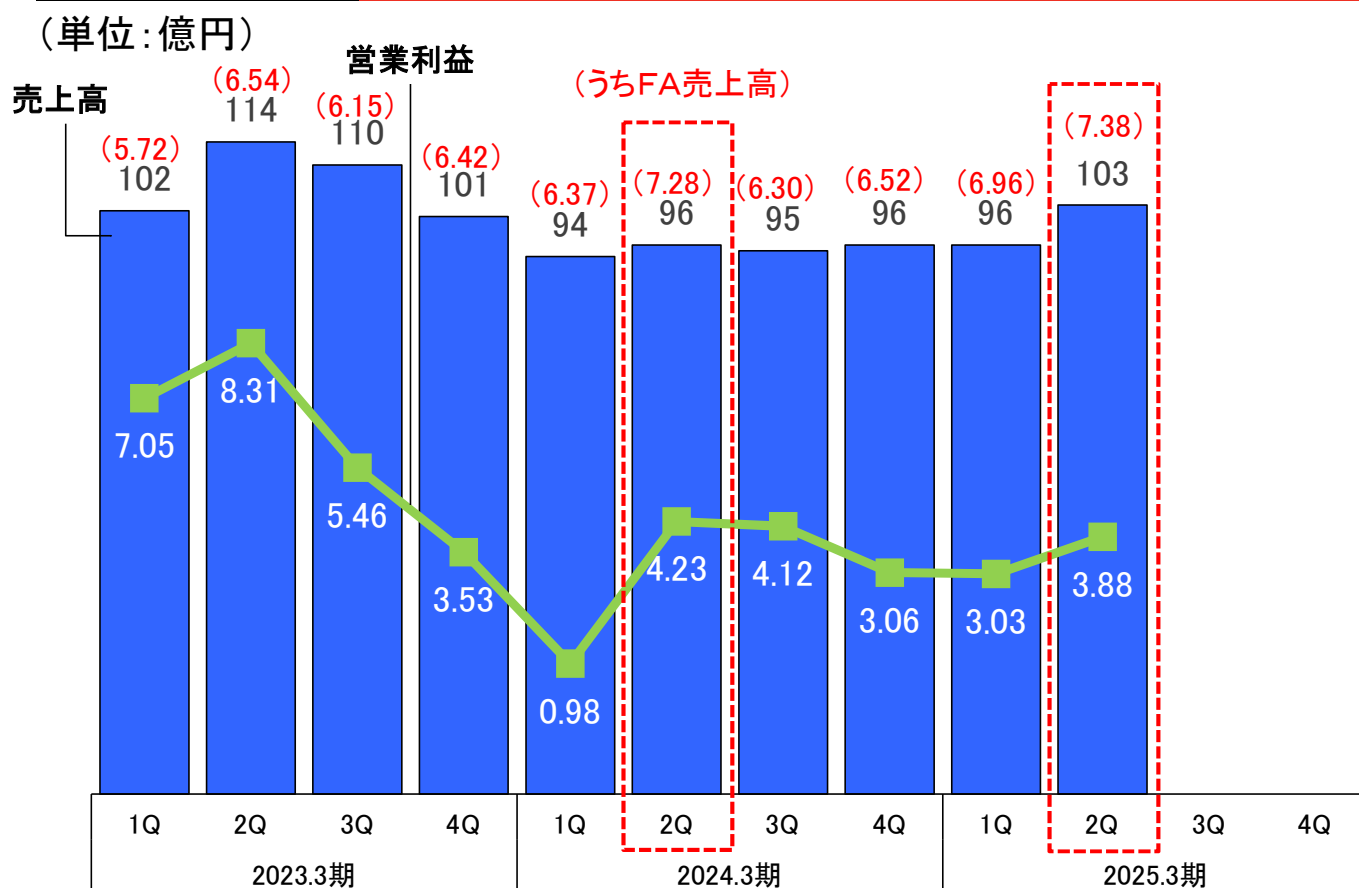


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

28

売上高と営業利益の推移



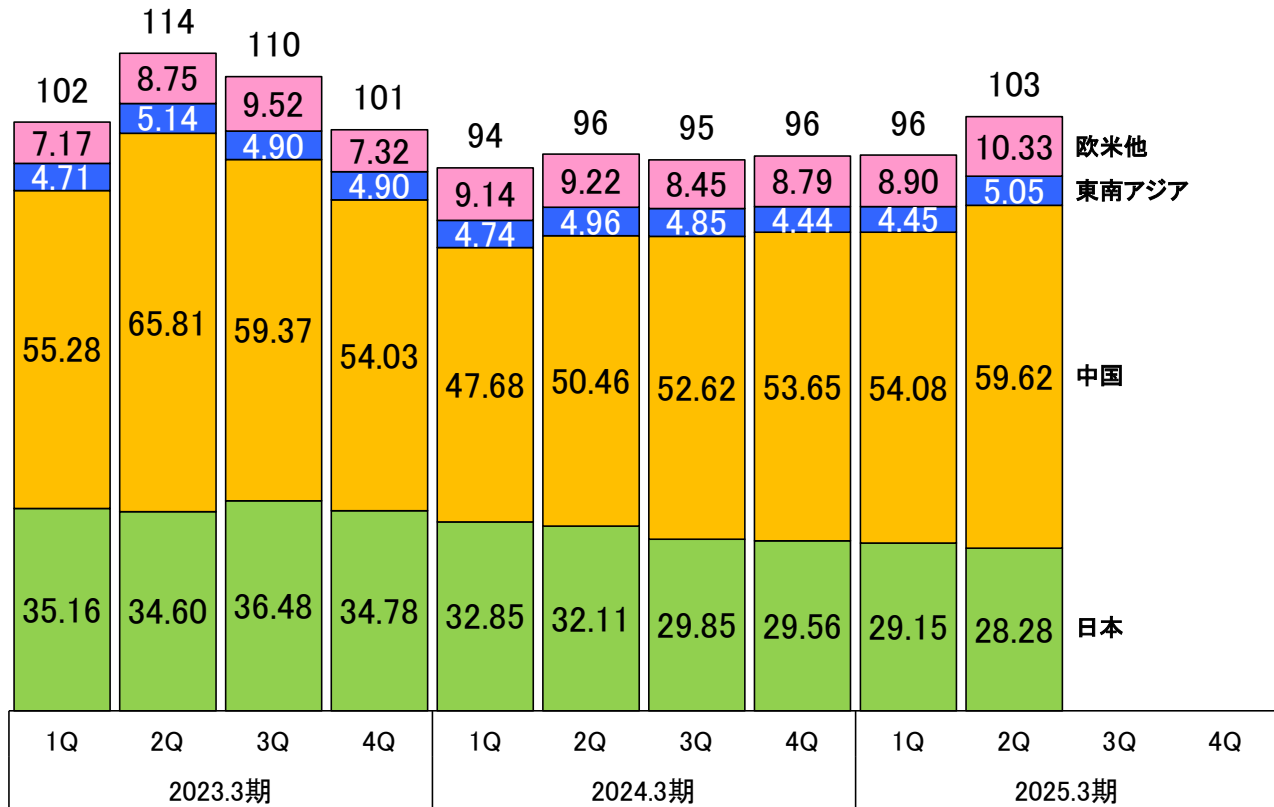
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

29

地域別売上高

(単位: 億円)



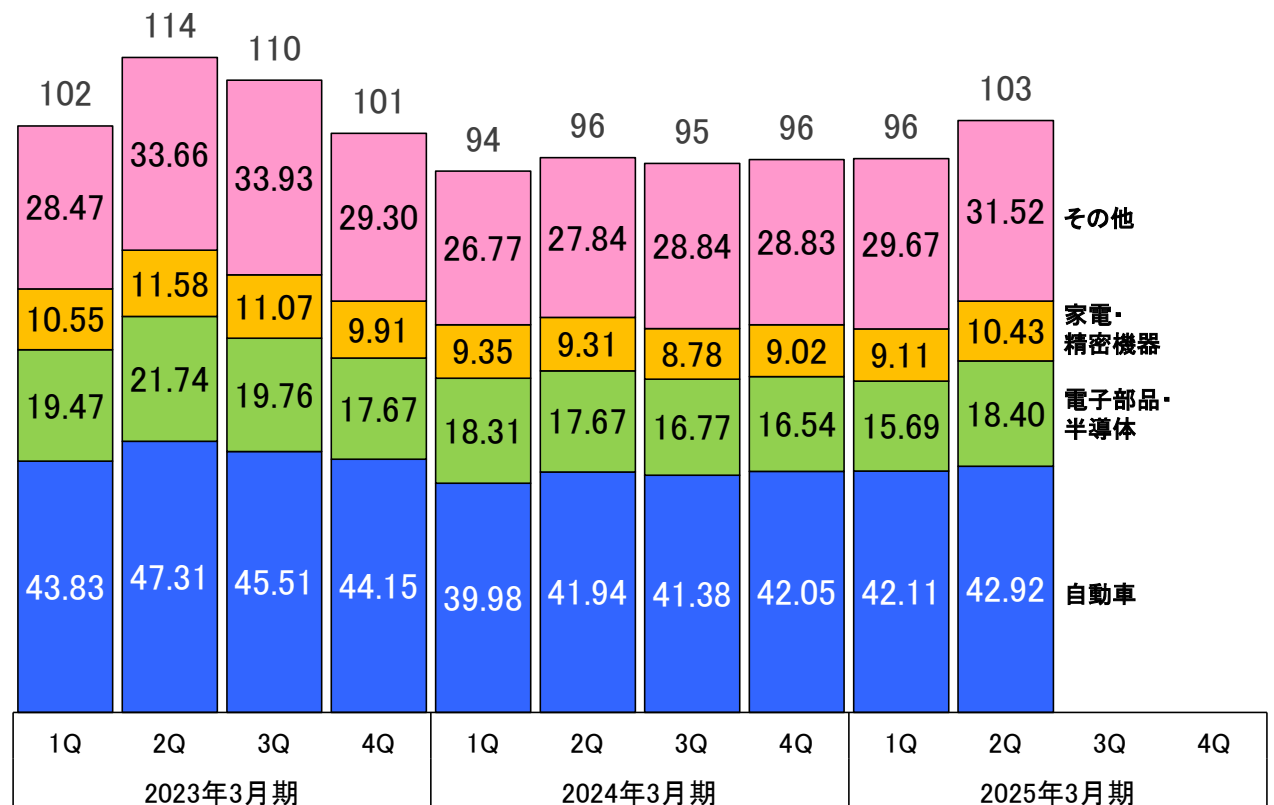
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

30

業種別売上高

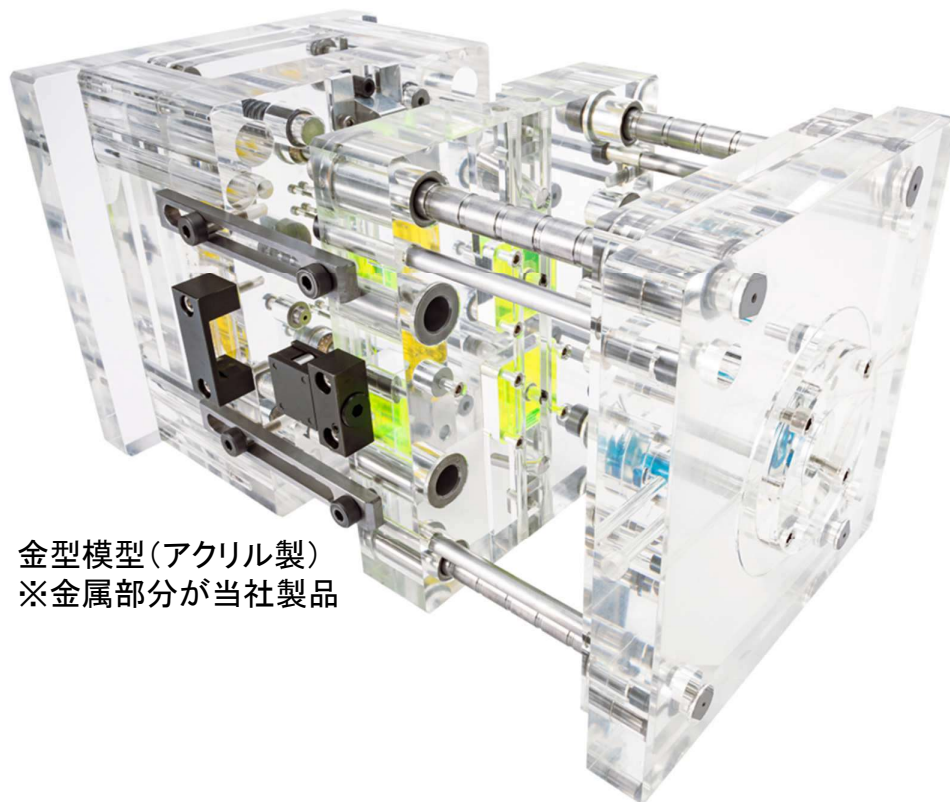
(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

31



金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。